

(別紙4(2))

事業所名 あいの街富士川

目標達成計画

作成日: 令和2年2月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|---|--------------------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 6 | 現在は拘束が必要な利用者が無いため、経験の浅い職員を中心に身体拘束における課題などが把握しにくい。 | 各種の情報から身体拘束に関する情報を集め、事例検討しながら個々の経験不足を補うよう努める。 | 事例検討を積極的に実施し、物理的な拘束による課題、ヒヤリハットなどから危険を予測する訓練を行う。 | 6ヶ月 |
| 2 | 13 | 職員ごと介護技術や経験の差から、利用者との関係に差が出てしまう事がある。認知症対応、生活援助など場面ごとに、それぞれに必要なケアを適切に判断できるようにしたい。 | 1人の利用者に対して出来るだけ平均的なケアを行えるように、不足している技術を補えるような職員同士の教育・意見交換を積極的に行う。 | それぞれが得意な面、不得意な面を認識して互いに指摘したり、助言を求めることが出来るような時間を毎月のミーティングで設ける。他職員からの指摘をマイナスととらえずに、レベルアップの為にはどんなことが必要なのかを意識してケアを行う。 | 1ヶ月 次のミーティングから意見交換を実施 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。